



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校



震災追悼行事

平成7年1月17日午前5時46分に阪神・淡路大震災が発生し、多数の犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。25年目に当たり、本校においても、午後2時40分から震災追悼行事を行いました。

まず、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りして、職員及び全校生徒が黙祷を捧げました。

次に、校長先生より大震災後に聞かされた「命一番」という言葉の持つ意味について説明があり、また近い将来起こりうる巨大地震への備えと自助・共助の必要性について話していただきました。

追悼行事終了後、副読本『明日に生きる』から抜粋した阪神・淡路大震災の体験談を読み、ともに担任の先生の震災に関する話を聞きました。生徒たちがこの大震災の経験と教訓を語り継ぎ、さまざまな災害の発生にも臆することなく、積極的に行動してくれることを願っています。

青年期の心と体 LHR実施

1月16日(木)には3年生、23日(木)には1、2年生において「青年期の心と体」についてのLHRを実施しました。

無意識に感じているストレスの仕組みを学び、解消法をクラスで共有しました。ストレスは、誰もが感じるもので、マイナスばかりではなく推進力にもなること、また、自分と同様、ストレスに関する悩みをもつクラスメイトがいることを学び、ストレスと上手に付き合える人でありたいと感じた一時間でした。

学年行事



2月7日(金)、44回生学年行事を実施。内容はニュースポーツを中心とした「レクリエーション」と「美味しい井対決」の二本立て。テーマは「協調性と思いやり」。自分の得意分野に大いに力を発揮し、苦手な分野にも食いついてみる。しかも、今回はコンピュータシャッフルででき上がった班での結束を目指しました。いざ始めてみると、ドッチビーやアジャタの面白さに自然と結束は高まり、午後のオムニキンで最高潮を迎えました。プレーヤーも観客も真剣なのになぜか大笑い。「井」対決も真剣勝負で、味の饗宴を制したのは「ロコモコ風肉まみれ井」でした。ボリュミ

野外活動



2月7日(金)、45回生野外活動が実施されました。今年の野外活動は、昨年度から変更し、グリーンエコー笠形で様々な実習を行いました。4月に行われたスーパードリエンテーションでも使用した会場で、もう一度、4月の気持ちを振り返るとともに、1年生の締めくくりを行いました。

午前中は、集団行動を通して、学年の絆、自分たちの生活の見直しをはかりました。午後からは、各班に分かれて、自分たちで考えたメニューを作りました。おいしくいただき、頑張ろうという思いが芽生えたように感じた一日となりました。

ちょっと一言

◇追悼行事では、私の体験談を語りました。私が大切にしている「命一番」の言葉は、震災体験から始まりました。「心と体のLHR」では、ストレスへの向き合い方について、一人一人が真剣に考えている様子うかがえました。教員研修として全教員が参加しました。今年度の、1年生・2年生の学年行事は、スーパーオリエンテーションの2年生版・3年生版を意図して実施しました。たった3年間だけのかかわりですが、子どもたちを「小さな英雄(地域を支える人材)」へと成長させるべく邁進します。これからも、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。(N. A.)

・「神崎夢実現プロジェクト」
・部活動「外部指導者」・「神高部活動基金」
を募集しています。

詳しくは神崎高校へご連絡
いただくか、ホームページを
ご覧ください。

